試行的実施

地域包括支援センター名：湘北地区地域包括支援センターあかね

1. 今年度の重点的な取組方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
1-1. 市の方針に即している	4	平成27年度地域包括支援センター運営事業実施業務委託仕様書、平成27年度茅ヶ崎市包括支援センターにおける包括的支援事業の実施方針に即して事業を行った。	4	市の方針や政策を踏まえて、事業計画の作成及び事業が実施されている。	
1-2. 長期的な視点で見たときの今年度の位置付けを意識している	4	湘北地区の地域ケア会議を来年度以降も継続開催が可能となるよう、地域団体の合意形成が図れるよう取り組んだ。H29年度からの総合事業を視野に、地域づくり・資源開発を目標とした。	4	地域ケア会議の開催にあたり、関連する会議との整理を行い、平成27年度は「居場所づくり、世代間交流」などの地域づくりに向けた活動が具体的に見られている。	

2. 組織の運営体制の具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
2-1. 組織体制が明確である	4	三職種及び管理者(兼務)、管理責任者(兼務)を確保している。また、受託法人の職位とも一致しており、指示命令系統が明確である。	4	管理責任者が現場を一体的に管理している。法人への報告については法人内の在宅部門責任者が必ず間に入るなど、組織体制が明確になっている。	
2-2. 切れ目なく三職種を配置し、業務を継続するための取り組みがある	4	受託法人には職員の就労継続が可能となるよう、福利厚生や給与待遇面での充実、及びメンタルヘルスを良好に保つためのシステムがある。退職等の欠員が発生する場合は責任を持ってこれを補充する。	3	現状として三職種の配置はされているので、基準は満たしているが、業務継続に必要な専門職確保のための具体的な取り組みが必要である。	
2-3. 適正な職員配置をするための取り組みがある	4	三職種について基準以上の職員を配置している他、介護予防プランの作成に掛かる介護支援専門員を1名専従で配置している。	4	適正な人数で包括的支援事業が実施できるよう、指定介護予防支援を行う介護支援専門員を配置するなど、具体的な取り組みが見られている。	

3. 職員間の連携に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
3-1. 三職種の専門性を生かしてチームケア実現に向けた取り組みがある	4	毎朝夕にミーティングを行っており、個別の相談事例、及び取り組みや事業について三職種が意見を出し合うようにしている。	4	朝・夕のミーティングを目的別に有効に活用し、専門職としての見立てや同行訪問の要否などを適切に判断している。	
3-2. 職員間の効果的な連携を促進するための取り組みがある	4	主に個別の相談事例に対して毎朝夕のミーティングを活用し、内容によって複数担当(異職種や同職種)とすることで、連携や技能取得を促進している。	4	対応困難なケースには複数対応を行うなど、お互いの専門分野をサポートする体制が整っている。また、電子記録の共有により、主担当者不在時の対応も出来ている。	
3-3. 包括的支援事業の4業務を実施するにあたり、各職種の専門性が生かされている	4	認知症サポーター養成講座等の事業、地域団体からの講義依頼、市(高齢福祉介護課以外を含む)からの依頼内容によって適切な職種を選定、役割分担を行っている。	4	職種の特性を活かして、地域に向けて必要な働きかけをチームとして行っている。	

4. 公正・中立性確保のための具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
4-1. 公正・中立性を確保するための取り組みがある	4	介護予防支援の委託先や介護サービス事業所が極力偏らないよう、全職員に周知可能な限り留意した。なお、受託法人である翔の会への介護予防支援委託や居宅介護支援の紹介率は13%程度に抑えた。	4	介護予防プランの委託先や事業所の紹介が偏ることのないように、本人の意向を重要視した上で、数値的な目安も定め、取り組んでいる。	
4-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	4-1. に記したとおりであり不当に偏ることや斡旋行為にならぬよう教育している。最終的には本人や家族の意向を尊重し、事業所のサービス提供範囲を考慮し決定している。	4	職員間で委託先や紹介先の情報を共有するなど、公正中立を意識するための取り組みをしている。	

5. 緊急時対応の具体的方針(災害時含む)					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
5-1. 緊急時の体制が整備されている	4	大規模災害に対しては受託法人及び茅ヶ崎市の行動マニュアルを活用できるように整備している。個別の緊急事案については管理者に連絡し、都度判断している。	4	緊急時の対応についてのマニュアルがあり、災害発生時に職員が具体的に行動するためのマニュアルも整備されている。	
5-2. 防災・減災のための取り組みがある	4	受託法人のリスクマネジメント巡回を活用し、事業所内の安全確保に努めている他、地震を想定した通報訓練と消火活動訓練を実施している。また、担当地区の自治会単位の防災マニュアルを共有している。	4	法人本部でサーバーを管理し、リスク回避がされている。防災訓練の実施や棚等の転倒防止対策など、発災時に備えた減災対策も実施されている。	

6. 個人情報保護に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
6-1. 個人情報保護に関する具体的な取り組みがある	4	平成27年4月よりSECOMを導入し事業所全体のセキュリティを高めた。職員に対しては個人情報の保護と活用について研修した。	3	個人情報保護のマニュアルがあり、セキュリティ管理のためにSECOMも導入されているが、個人情報であるファイルの保管について更なる工夫が必要である。	
6-2. 職員に対する意識啓発に取り組んでいる	4	受託法人には入職・退職時に守秘義務に関する誓約を行っている。日常的には相談内容やケースファイルは訪問時以外は持ち出し不可とし、退勤時は保管場所に戻すようにしている。	4	平成26年度末に神奈川県が実施する研修を受講した職員が、27年度に職場内で伝達講習を実施している。また、全ての職員が入職時の誓約書でも確認をしている。	

7. 苦情対応に関する具体的方針					
評価基準	自己評価	内容(何を、どのように。)	基幹型評価	評価するにあたって判断したことから	市評価
7-1. 苦情対応のための適切な体制が整備されている	4	基本的に全職員が対応し、苦情解決責任者が最終的な対応をする。苦情内容は、記録を取り再発防止に努めている。	4	苦情の基準、対応など法人が定めたマニュアルがあり、市への報告や記録の記載が確認できた。	
7-2. 再発防止のための取り組みがある	4	7-1. に記したとおり。苦情に関する記録を作成し、毎朝夕のミーティングを活用し再発防止に努めている。	4	苦情について、職員間で情報を共有し、再発防止に向けた話し合いを行うなどの取り組みがある。	

総合評価(平均点)	4		3.88		#DIV/0!
-----------	---	--	------	--	---------

総合評価(自己)	第6期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本理念に基づき、平成27年度茅ヶ崎市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施方針の実現を目指し業務を行った。具体的には、地域課題の共有と優先順位の明確化、及び具体的取り組み方法について地域ケア会議を開催し協議した。なお、地域ケア会議に関連するものとして市社協湘北地区担当との地域ケア会議の打合せを4回、サービス事業者との意見交換を1回、居場所作りを進めていく住民との準備会を2回実施している。これらは平成29年度からの総合事業を念頭に置いたものであり、地域包括支援センターの本来業務に重点をおいて取り組んだものと自負している。				
----------	--	--	--	--	--

総合評価(基幹型)	職種間の情報共有や専門性を活かした役割分担など、組織としてチームケアを行う体制ができている。切れ目ない職員の配置については、専門職の人員確保のための具体的な取り組みが必要である。また、個人情報保護の取り組みとしてSECOMを導入したことは評価できるが、個人情報であるファイルの保管等に更なる工夫が必要である。湘北地区の地域包括ケアシステムの構築を見据えて、地域の関係機関との連携体制づくりを行い、居場所づくりの働きかけなど具体的な取り組みが行われていることは評価できる。				
-----------	---	--	--	--	--

運営協議会の意見					
----------	--	--	--	--	--

総合評価(市)					
---------	--	--	--	--	--

運営状況レベルの内容	評価点
求められる評価基準を満たしており、具体的成果が見られる	4
求められる評価基準を満たしている	3
求められる評価基準を満たしていないが、取り組みは行っている	2
求められる評価基準を満たしておらず、取り組みも行っていない	1